

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学3年	教科／科目	宗教	時間数	2/週
年間					
単元名	社会の一員として生きる ～わたしにできる社会貢献を考える～			使用教材	
単元の概要	本単元では、社会のさまざまな課題を学びながら、それに向き合う自らの姿勢と行動を見つめ直し、「社会貢献とは何か」を深く考察することを目的とする。祈りや聖書、映像教材、体験的な学びを通じて、他者の痛みに寄り添い、共に生きるためのまなざしを育む。また、自分の選択や言葉、行動が社会に与える影響を理解し、小さな一歩が未来をつくる原動力となることを体感する。最終的には、社会に応える力を「自分自身の使命」として捉え、主体的に発信・行動できる世界市民としての意識を醸成する。年間を通して「気づく→理解する→つながる→表現する」という段階的な学びを通じ、社会貢献の基礎となる共感力と自己の価値観を育成することを目指す。			配布プリント・PPT	
				単元内容	
究(社会)	A3	B3	C3	1.イントロダクション 2.マインドフルネスと祈りの意義 3.普通とは何か？ 4.世界100人の姿から見つめる、わたしたちの役割 5.「公平な世界を目指して」 6.「何のために社会に関わるのか～ただしさとやさしさ」 7.「ドン・ボスコに学ぶ、他者への奉仕と社会貢献」	
	他者や社会との関係性を深く見つけ、主体的に関わろうとする姿勢を持ち、協働や対話に積極的である。	多様性や社会課題について多面的に考察し、自らの価値観として整理し、言葉で表現できる。	学びを自己の生き方や社会との関わりに結びつけ、行動の意味を内省し、将来につなげている。		
活(他者)	A2	B2	C2		
	他者の立場や思いに配慮しながら関わることができ、対話や協働に前向きに取り組んでいる。	社会課題に関心を持ち、自分の考えを形成しようとしている。	学びを生活や社会と結びつけようとし、自分なりの行動や考えをふり返っている。		
礎(自分)	A1	B1	C1	留意点	
	他者や社会の問題に目を向け、関わろうとする姿勢が見られる。	多様な考えや社会の課題にふれ、自分なりに理解しようとしている。	学びから得た気づきを大切に、自分の行動や選択に少しずつ反映させようとしている。	生徒が学びを自己の価値観や生活と結びつけられるよう、毎授業の終わりに簡潔な振り返りの時間を設ける。その中で、感じたこと・気づいたこと・考えたことを自らの言葉で表現することで、学びの定着と内省を促進し、探究を通して得た視点を次の行動や対話につなげていく姿勢を育む。	
	感性	理性	行動(自分事として)		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中学3年		教科／科目		宗教		時間数		2/週					
1学期															
単元名		自己と他者を見つめるまなざし ～祈り・普通・世界の現実から考える～						使用教材							
単元の概要		祈りや感情を手がかりに自己理解を深めるとともに、「普通」とは何かを問い直すことで、多様な価値観の存在に気づく。また、世界の不平等や格差を学び、自分の暮らしがグローバルな構造の中にあることを理解する。社会の現状を知ることから社会貢献の意識を芽生えさせ、自分にできる一歩を模索し始める学期とする。						配布プリント・PPT							
						単元内容									
究(社会)	A3	B3	C3	1.年間計画とシラバスの説明。クラスのつながりづくりを目的としたアイスブレイク活動(ペーパータワー)実施。 ・「ペーパータワー」 2.マインドフルネスの基本と祈りの意義を学び、「感情カード」で自己の感情を整理。PBLで「祈りは必要か？」を探究。 ・PBL:「祈りは必要か？」 ・「感情カード」を用いて、ともに祈る意味を考える。 3.普通とは何か?「普通」とは誰にとっての基準なのかを問い直し、多様な価値観や感じ方が存在することに気づく。 ・PBL:「普通とは何か？」 ・「騙し絵」から見え方の違いを考え、自分の「当たり前」や「普通」が絶対ではないことを実感し、柔軟な思考力を養う。				4.『世界がもし100人の村だったら』世界の現状を自分ごととして捉え、社会課題に対する当事者意識を育てる。小さな行動が社会を変える力となることを実感し、主体的に関わろうとする姿勢を養う。 ・PBL:「今の自分の生活は、世界の中で恵まれているか？」 ・『世界がもし100人の村だったら』を視聴。 ・ワーク:「私が100人の村にいたら？」シート作成 ・グループディスカッション:「もし自分が村のリーダーだったら？」 小さな社会貢献アイデアを出し合う ・小さな社会貢献プロジェクト案を発表し合う ・創世記 5.『バレンタイン一揆』身近な消費行動の裏にある社会課題(児童労働・不平等)を知り、フェアトレードの意義を理解する。自分の選択や行動が社会をより良くする力になることを実感し、主体的な生活態度を育む。 ・PBL:「この社会の“あたりまえ”を見直すとしたら？」 ・『バレンタイン一揆』を視聴。 ・【構造が見える化】「チョコレートの旅マップ」 6.まとめ・振り返り							
	活(他者)	A2	B2									C2			
礎(自分)	A1	B1	C1	留意点								生徒が学びを自己の価値観や生活と結びつけられるよう、毎授業の終わりに簡潔な振り返りの時間を設ける。その中で、感じたこと・気づいたこと・考えたことを自らの言葉で表現することで、学びの定着と内省を促進し、探究を通して得た視点を次の行動や対話につなげていく姿勢を育む。			
	感性	理性	行動(自分事として)												

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中学3年		教科／科目		宗教		時間数		2/週	
2学期											
単元名		行動を選ぶ責任 — 公平な社会のために						使用教材			
単元の概要		本単元では、社会貢献を「良いこと」として単純に捉えるのではなく、その行動が他者に与える影響や意味を多面的に捉え直す力を育てる。「正しき」と「やさしき」がぶつかったら、どうする？」という問いを通して、状況に応じた判断の難しさや葛藤を体感し、他者の立場や感情に想像力を持って応答することの重要性を学ぶ。加えて、ドン・ボスコの生き方にふれ、その信仰と献身の姿勢から、真に人のために生きるとは何かを深く探究する。最終的には、自分の行動が社会に与える意味を考え、思慮ある社会貢献のあり方を模索する。						配布プリント・PPT			
						単元内容					
究(社会)	A3	B3	C3	1.「正しき」と「やさしき」がぶつかったら、どうする？」社会貢献を無条件に肯定するのではなく、他者の立場や感情に想像力を持ち、行動の意味と影響を多面的に考える。 ・PBL:「正しき」と「やさしき」がぶつかったら、どうする？」 ・社会貢献のジレンマを考える ・ロールプレイ 2.ドン・ボスコの生き方について学び、社会貢献の精神を深めるとともに、ショート動画制作を通じて自らの思いを主体的に発信する。 ・PBL:「助けるという行為は、自己満足ではないのか？」 ・映画『ドン・ボスコ』を視聴 ・ドン・ボスコ・ショート動画作成 3.まとめ・振り返り							
	多様な立場の声に耳を傾け、対話を通じて他者との関係性をより良くしようと積極的に関わっている。	社会にある対立やジレンマの背景を深く捉え、自分の価値観や判断基準を明確に説明できる。	ドン・ボスコの生き方を自らの行動に結びつけ、社会との関わり方を主体的に探究している。								
活(他者)	A2	B2	C2	1.「正しき」と「やさしき」がぶつかったら、どうする？」社会貢献を無条件に肯定するのではなく、他者の立場や感情に想像力を持ち、行動の意味と影響を多面的に考える。 ・PBL:「正しき」と「やさしき」がぶつかったら、どうする？」 ・社会貢献のジレンマを考える ・ロールプレイ 2.ドン・ボスコの生き方について学び、社会貢献の精神を深めるとともに、ショート動画制作を通じて自らの思いを主体的に発信する。 ・PBL:「助けるという行為は、自己満足ではないのか？」 ・映画『ドン・ボスコ』を視聴 ・ドン・ボスコ・ショート動画作成 3.まとめ・振り返り							
	異なる考えに理解を示しながら、対話や協働に前向きに取り組んでいる。	立場や価値観の違いを考えながら、自分の意見を整理しようとしている。	学びを自分に引き寄せて考え、自分にできる社会貢献のかたちを模索している。								
礎(自分)	A1	B1	C1	留意点							
	他者の思いや言葉に耳を傾け、関わろうとする姿勢が見られる。	正しさややさしさについて、自分なりの視点を持つようとしている。	ドン・ボスコの生き方にふれ、自分の行動を見つめ直すようとしている。								
		感性		理性		行動（自分事として）					

生徒が学びを自己の価値観や生活と結びつけられるよう、毎授業の終わりに簡潔な振り返りの時間を設ける。その中で、感じたこと・気づいたこと・考えたことを自らの言葉で表現することで、学びの定着と内省を促進し、探究を通して得た視点を次の行動や対話につなげていく姿勢を育む。

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース

中学3年

教科／科目

宗教

時間数

2/週

3学期

単元名 「社会とつながるわたし ― 学びをかたちにする

使用教材

単元の概要

本単元では、これまでの学びをふり振り返り、自分自身が感じたこと、考えたことを整理し、他者に伝える形へと表現していくことを目指す。社会課題への理解や他者とのかわりを通して深まった内省をもとに、「わたしにできること」「わたしが大切にしたい価値観」について言語化し、映像作品などの創作を通して発信する。個人の思いが他者とつながり、共感や気づきを生む可能性を実感する中で、自分らしく社会に関わっていく姿勢を培う。

配布プリント・PPT

単元内容

	A3	B3	C3	・ドンボスコ・ショート動画作成 ・社会貢献に関するプレゼンテーション作成 1.年間まとめ・振り返り
究(社会)	自他の違いを尊重し、学んだことを生かして他者や社会とのつながりをよりよく築こうとしている。	年間の学びを通して得た気づきや問いをもとに、自分の価値観や社会観を明確に言語化できる。	自らの行動を省みながら、今後の生き方や社会貢献のあり方を主体的に考え、次の行動につなげている。	
活(他者)	他者との関わりの中で、自分ができる関わり方を考えながら表現しようとしている。	自分の価値観や社会とのつながりについて振り返り、考えをまとめようとしている。	自分の思いや学びをもとに、行動の意味や社会との関わり方を整理し始めている。	
	A1	B1	C1	留意点
礎(自分)	他者とのつながりや社会の中での自分の役割について関心を持ち始めている。	これまでの学びをふり振り返り、自分なりに印象に残ったことを振り返ろうとしている。	自分の成長や変化に気づき、それを生活や将来に生かそうとする姿勢が見られる。	生徒が学びを自己の価値観や生活と結びつけられるよう、毎授業の終わりに簡潔な振り返りの時間を設ける。その中で、感じたこと・気づいたこと・考えたことを自らの言葉で表現することで、学びの定着と内省を促進し、探究を通して得た視点を次の行動や対話につなげていく姿勢を育む。
	感性	理性	行動(自分事として)	